

NOW & FUTURE

馬場祐未さん
産休制度



社内報2025年Vol.3では
現在育休中の馬場祐未さんに
産休制度について、仕事と育児について
インタビューしました！

目次

1. 馬場さん自己紹介
2. 現在の生活、大変なところは？
3. 産休中の仕事について

自己紹介



取締役

馬場 祐未

(ババ ユミ)

(37歳)

2010年4月入社

千葉大学卒業後、新卒でHALZへ入社。
給与計算や社保手続き等のフロントとして、
企業様への常駐サポートを複数社経験。
様々な労務相談の対応やその他社員からの
問い合わせ窓口となり、ケーススタディを
積む。
給与計算や労務顧問などのお客様への対応
はもちろん、運用グループのグループリー
ダーとしてマネジメントや新規営業も担当。
現在産休、育休取得中で4月下旬に復帰予
定。

現在の生活、大変なところは？

現在は、全体的に赤ちゃんに合わせた生活を送っています。

特に、赤ちゃんにミルクをあげる時間が最優先で、3、4時間おきに授乳し、その間の時間で赤ちゃん(子ども)と遊んだり家事をしたりしています。

3、4時間おきとはいえ、授乳の時間、家事などをする時間を考慮すると思っていたよりも自分の時間が全然取れないんです。

泣き止まないときも大変で、特に産まれてから間もない頃には夜中に泣き止まないことがあり、1時間単位でしか寝れないなど、大変でした。

まとまって長時間寝る時間がなく、短時間の睡眠でトータルして1日5時間しか寝れず、慢性的な寝不足と膝や腰の痛み、抱っこによる腱鞘炎にも悩まされました。

インタビュー中、私も赤ちゃんに授乳させていただきました！初めての経験だったので、緊張し戸惑いましたが、最近はミルクをあげる際赤ちゃんを寝かせるクッションがあり、それのおかげで従来の方法よりは楽にミルクをあげることができました。

想像していたよりたくさんの量を一気に飲むことに驚きました。ずっと赤ちゃんを膝に乗せ、自分の腕をあげたままにしておく必要があるので、これを1日に何度も、毎日すると考えると本当に大変だと思いました。

また、思いの外大変だったこととしては、すべてが新しいことばかりだという点にあると思います。わからない事は小さなことでもいちいち調べる必要があります、時間がかかってます。

例えば、ミルクをあげるにしてもどこのブランドが良いのか、どのくらいの量をあげるのが適正なのかとか。小さなかすり傷でも異常でないか心配になったりして、ネットなどで調べるそうです。

予防接種一つとってもたくさんの書類にすべて手書きで記入しなければいけなかったり、どの時期にどの病院にどんな服装で行くかなど、たしかにいざ初めてのことをするとなると、想像以上に考えることが多くて大変そうです。。



産休中の仕事について

Q.産休中、自分の仕事がどうなっているか、社内の状況などは気にならなかったか

A.コミュニケーションツールのリモティを毎日見ているので、社内でどのような動きがあるかはだいたい把握ができていて、復帰後の不安は特にはないです。また、たまにチャット機能で連絡も取ったりしていて、仕事に触れる時間が私にとってはむしろ育児や家事の気分転換のようになっています。自分に合った仕事との距離感が大切なのだと学びました。

Q. 反省点、予期していなかった点は？

引き継ぎをもっとはやくするべきだったと反省しています。思っていたよりも出産には体を動かせる状況でなくなり、できると思っていた仕事ができなくてご迷惑をおかけしました。やはり何事も早めの行動が大切ですね。

また、出産直後にも出産時の傷の痛みが激しく動けなかったです。里帰りをしての出産だったのでまだよかったですが、この大変さにさらに家事が加わったら本当に大変だったのだらうと思いました。

産休中の仕事について

Q. 復帰後の不安は？

他のお母さんの経験談で聞くように、保育園で菌をもらって急にお迎えの呼び出しなどがきたらどうしようと不安に思う気持ちはありますね。しかし、HALZには在宅勤務の仕組みやフレックス制度があって、復帰後もそのような制度も使えるので安心感があります。



会社のみなさんへのメッセージ

馬場さんから職場のみなさんへメッセージをお預かりしています！

「仕事でご迷惑をおかけしています。
4月下旬に復帰予定です。
チャットでのやり取りはしていますが、顔はみれていないので直接お会いできるのを楽しみにしています！」



編集後記

こんにちは。

今回の社内報を担当させていただきました、インターンシップ生の井村優希と申します。

今回は育児休暇を取得中の馬場祐未さんにご自宅まで伺わせていただきインタビューをしました。家の様子を見ても、赤ちゃん中心の生活だということが感じられました。

馬場さんはクライアントから頼りにされることはもちろん、自由度が高く様々な仕事ができるところが飽きっぽい性格の自分にとってモチベーションに繋がっていると話していました。在宅勤務についても育児で忙しい中で通勤時間の分仕事の時間を長くとることができるなどとおっしゃっていて、産休前に仕事をしている姿を見たことがない私にも仕事をするのが好きな方なのだということが伝わってきました。

そんな馬場さんを見て、私も将来仕事が好きだと胸を張っていえるような大人になりたいと強く感じ、影響を受けました。

仕事を頑張りたい女性にとって、結婚や出産のタイミングは非常に難しい問題だと思います。しかし、実際に育児をしながら会社の仕組みを上手く利用し、仕事と適度な距離、連絡を取っている馬場さんとお話をして、自分にあった適切な仕事との距離を保ちながら出産、育児を叶えられるのだと勇気付けられました。